

日本語教師のためのグーグル活用法

Effective Use of Google for Japanese Language Teachers

北川利彦、チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学

Toshihiko Kitagawa, Canakkale Onsekiz Mart University

概要：Google はシンプルなインターフェースを持ちながらも、検索の速度や精度が高いことで広く知られている。しかしその一方で、簡単な検索式を使用することでその精度を更に上げられることは意外に知られていない。このワークショップでは「学術情報検索」「表現検索」「生活情報検索」の三つに焦点を当て、日本語教師の授業・研究、そして生活に役に立つ Google の様々な検索式や機能を紹介する。

キーワード：検索、論文データベース、インターネット、コーパス、Google

1. はじめに

Google という社名は「ググった?」「Did you google?」など動詞として使われるようになり、多くの人々の生活に密着した存在であることを示している。Google のインターフェースは誰でも直感的に操作することができ、また検索結果の表示が速く、精度も高いため利用者が年々増えている。それと同時に、キーワードを入れて検索ボタンを押してみたものの、検索ヒット数が多すぎたり、逆に少なすぎたりということは私たちの多くが経験しているであろう。これらは、Google が提供している検索式を使用し、検索範囲を絞ったり広げたりすることで解決することができる。そこでこのワークショップでは、検索精度を高めるための検索式の利用、日本語コーパスとして利用、生活に密着した形での利用の三つに分けて、Google の様々な検索式や機能を実際に試してみる。

2. 様々な検索の方法とサービス

まず、学術情報の検索について取り上げる。通常はキーワードを入力して検索するが、結果的に何万件もホームページがヒットしてしまい、得られる情報が玉石混交であることも少なくない。このような場合の対応策として、キーワードを引用符で囲むフレーズ検索、特定の単語を検索結果から取り除く NOT 検索、組織や国を指定する特定ドメインの検索、PDF やワード形式など特定のファイル形式の検索、ホームページのタイトル検索、URL 検索、日付を指定しての検索等、情報源を絞り込むための検索式を紹介する。

また逆に、検索結果が少なすぎることやキーワードの文脈が思い出せないこともある。このよう場合には、検索範囲を広げるための OR 検索、アスタリスクを利用したワイルドカード検索を使うことで精度を上げられる。また、あるサイトから有益な情報源を辿るためのリンクの検索や類似性の高いサイトを探すための検索式も紹介する。

これらの検索式に加えて、学術論文の検索に特化した Google Scholar も取り上げる。これは引用回数を示すリンク数が表示される等、通常の検索にはない特徴を備えている。2007 年 4 月には国立情報学研究所が日本国内の論文データベース 300 万件を同サービス上に公開することを発表し、その利用価値は高まっている。

次に、表現検索、つまり Google を言語コーパスとして利用する方法を紹介する。日本語教師にとっては「日本語」が大きな関心事であり、どういった表記・表現が頻繁に使われているのかを調べたい場合が多くあるだろう。例えば、安藤（2003）が挙げたように「跡を絶たない／後を絶たない」など誤字の多い表現の使用実態を確認し、正誤判断の資料とすることも可能である。同時に、検索結果を絶対視することの危険性と問題点も指摘する。

最後に、為替レートや面積、重さ、カロリーなどの計算機能、辞書機能、株価の確認、レストランやカフェなど情報を調べる方法等、生活に関連した活用方法を紹介する。

3. おわりに

Google はその検索精度の高さ故に、キーワードを入れただけでも探している情報が出てくるかもしれない。しかし、このワークショップで紹介する検索式やサービスを利用することで、より精度の高い情報に素早く辿り着くことが可能になるだろう。ここで取り上げる以外にも様々な利用方法があるので、更に検索技術を極めたい方は参考文献に挙げる書籍やサイトに目を通してみることをお勧めする。

参考文献

- 安藤進『翻訳に役立つ Google 活用テクニック』丸善（2003）
 津田大介『仕事で差がつくすごいグーグル術』青春出版社（2006）
 Google（2002）. 「Google の詳しい検索方法」 2007 from -
www.google.co.jp/intl/ja/help/refinesearch.html
 Google（2007）. 「Google の基本検索」 2007 from -
www.google.co.jp/intl/ja/help/basics.html
 Google（2007）. 「Google の特殊機能」 2007 from -
www.google.co.jp/intl/ja/help/features.html